

連絡会だより

浅瀬石川ダム流域水道水源保全連絡会

1. 平成25年度浅瀬石川ダム流域水道水源保全連絡会 平成25年5月29日(水)

去る5月29日(水)、会長(鳴海黒石市長)出席のもと、平成25年度の連絡会を開催しました。

- ・平成24年度事業報告
- ・平成25年度事業計画(案)

について審議され、承認されました。

また、かび臭問題について、浅瀬石川ダム管理所と津軽広域水道企業団から概況と今後の取り組みについて説明がありました。

その他、当連絡会の大きな目的である緊急時の連絡体制について再確認しました。



連絡会の様子(津軽広域水道企業団 2階会議室)

2. 浅瀬石川ダム上流施設等の視察 平成25年7月22日(月)

湖水循環(曝気)装置、一般廃棄物最終処分場である沖浦埋立処分地の現地を視察しました。概要は下記のとおりです。



かび臭発生抑制の緊急対策として設置した湖水循環(曝気)装置の説明



沖浦埋立処分地の概要説明



処分地流入水(原水)、処理水

3. ダム湖ふれあいデー 平成25年7月28日(日)

浅瀬石川ダム管理所が主催する「ダム湖ふれあいデー」が、ダムサイト公園や虹の湖公園などで開かれました。津軽広域水道企業団で「水の飲み比べ」コーナーに184人の来場者がありました。



当連絡会でも「パネル展」のブースを設けました。

○水源地パトロール 平成25年10月15日(火)

10月15日(火)、会長をはじめ多くの会員の参加(30名)がありました。

会長より「不法投棄は許してはならない行為であり、手を緩めることなく監視しなければならない。」とご挨拶がありました。



水源地パトロール 行程

杉の沢堰堤 → 二庄内林道 → 一般廃棄物処分場・養鶏場・産業廃棄物処分場(車窓) → 青荷沢 → 深沢林道 → 浅瀬石川ダム展望台

手緩めることなく監視

浅瀬石川ダム流域 30人で水源地パトロール



不法投棄現場を視察する一行

浅瀬石川ダム流域水道水源保全連絡会(会長・鳴海広道黒石市長)は16日、水源地パトロールを行い、不法投棄のあった現場を訪れながら今後の保全対策について意見を交わし、不法投棄ゼロに向けて意識を新たにしました。

同連絡会は、水道水源保全に関する関係機関の連絡調整を図ることを目的に平成8年に発足。

浅瀬石川ダム管理所 津軽森林管理署 黒石警察署、浅瀬石川土地改良区、黒石市、平川市、津軽広域水道企業団津軽事業部などで構成し、水源地の監視活動や水源地保全に関する調査、PR活動などを行っています。この日のパトロールには約30人が参加しました。

黒石市石名坂の津軽広域水道企業団津軽事業部で開会式を行い、鳴海市長が「不法投棄は許してはならない行為であり、少しでも油断するとゴミを捨てる人がいる。手を緩めることなく監視しなければならぬ」とあいさつした。

担当者の説明とともにスライドに映された不法投棄現場の写真をしながら現状を確認。資料によると不法投棄件数は20年度が31件、21年度は34件、22年度は28件だったが、23年5月に監視カメラを設置したところ同年度は22件、24年度は17件と減少傾向にある。

25年度は10月現在で7件あり、台所用品・食器などの生活ごみやタイヤ、テレビなどの家電類、塗料缶などのゴミが投棄された。引き続き、一行はバスに乗って、杉の沢堰や二庄内林道、深沢林道、青荷沢など不法投棄現場を視察。虹の湖展望台で意見を交換し、不法投棄ゼロへ意識を新たにしました。



浅瀬石川ダム周辺で不法投棄の状況を確認する連絡会

不法投棄の現場確認

浅瀬石川ダム 水道水源保全 連絡会が巡回 石 黒

同ダムへの流入河川など、水質悪化を招く不法投棄のパトロールを実施した。不法投棄は監視カメラを設置す

浅瀬石川ダム流域水道水源保全連絡会(会長)は16日、黒石市の

るなどの取り組みもあるが、撤去後に捨てるなど、2011年度22件、12年度17件と減少傾向を続けている。今年度は8月31日現在で7件あった。

杉の沢堰場や深沢林道など、以前不法投棄があった場所をパトロールし、事務局の説明を受けた。減少傾向に

はあるが、撤去後に捨てるなど、2011年度22件、12年度17件と減少傾向を続けている。今年度は8月31日現在で7件あった。

杉の沢堰場や深沢林道など、以前不法投棄があった場所をパトロールし、事務局の説明を受けた。減少傾向に

(鳴海学)

事務局から

連絡会の活動、連絡会だよりの内容などご意見がありましたらおよせください。

事務局
津軽広域水道企業団津軽事業部
浄水課 浄水・水質チーム

Tel 0172-52-6033
Fax 0172-53-2983
Mail tugaru@tusui.jp